

遮光剤シリーズ

Q3 ホワイト（15L/20Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに使用できます。
- 高い遮光率（65%以上）が必要な場合は最も経済的な遮光剤です。
- 低い遮光率では Q4 ホワイトに比べ、降雨による自然剥離があり、2～3 カ月間程度での自然剥離を望む場合に最適です。

Q4 ホワイト（15L/20Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルム に使用できます。
- 紫外線や雨の影響に最も強く、長期間に渡って遮光効果が持続します。
- 遮光が必要な期間にしっかり遮光を希望する場合に最適です。

Q ヒート（13.5L/15Kg）



- ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに使用できます。
- 熱線（NIR：近赤外線）を選択的に反射し、光合成に有効な光（PAR：光合成有効放射）は比較的多く透過するため、多くの日射を必要とし、温室内の温度を抑えたい場合に最適です。

リムービット（20L）



- Qシリーズ（Q4 ホワイト・Q3 ホワイト・Q ヒート）を簡単に、綺麗に剥離する専用除去剤です。
- 遮光シーズンの終わり頃には太陽の角度が低くなり日照時間も短くなるため、作物に多くの光を与えるためにも被覆面に残っている塗布剤を除去することをお勧めします。

Q シリーズは環境に負荷を与える物質を含んでおりませんので、降雨による剥離によって、排水溝へ流出しても環境に問題を引き起こしません。農業用の幅広い被覆材においても、劣化などのダメージを与えることはありません。

販売店

Q3ホワイト

高品質かつ経済的な遮光剤

HERMADIX

THINK
INNOVATIVE !

royal brinkman
global specialist in horticulture



● 高遮光率には経済的な遮光剤

65%以上の遮光の場合、最も経済的な遮光剤です。

● 幅広い被覆材に対応

ガラス、農ビ、ポリエチレン、ポリカーボ、アクリル、フッ素フィルムに吹き付けるだけで目標とする遮光が実現します。

● 専用除去剤で簡単に、綺麗に除去

遮光が不要になったとき、専用除去剤（リムービット）で簡単に、綺麗に除去することができます。

I Q 3 ホワイトの使用目的

夏季の強い直射日光は、葉焼け、花焼け、萎れなど、作物に深刻な悪影響を及ぼします。また、作物がストレスを感じて気孔を閉じることで、光合成が抑制されてしまいます。

Q 3 ホワイトは温室、ハウスの被覆材に塗付することで、遮光率を自由にコントロールできる画期的な塗付資材です。使用方法是目標とする遮光率に合わせて【表 1】 きれいな水に溶し乾いたハウス外面に吹き付けてください。

※耐用期間は、目的とする遮光率を保持する期間の目安です。
耐用期間経過後、自然剥離が起こりますが降雨量などにより異なります。

作物にはそれぞれ、光飽和点【表 2】、【図 1】（最も光合成が盛んになる点）があり、それ以上の光では生長点の萎れや葉焼け果実焼けが発生してしまいます。

【表 2】 代表的作物の光飽和点

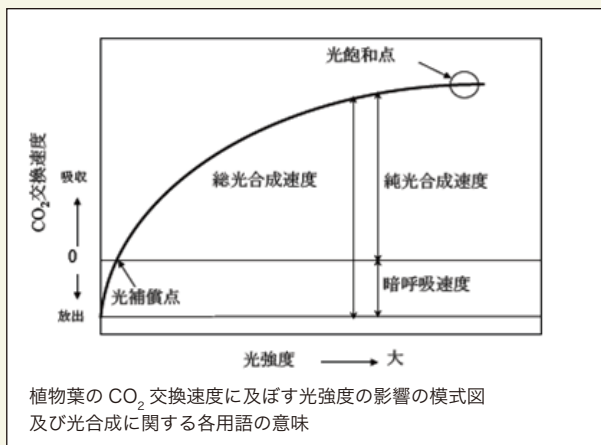
作目	光飽和点	遮光の必要な期間
トマト	80KLux	4月初旬～10月初旬
キュウリ	55KLux	3月下旬～10月中旬
ナス	40KLux	3月中旬～10月下旬
パプリカ	30KLux	3月初旬～10月下旬
イチゴ	30KLux	3月初旬～10月下旬
キク	50KLUX	3月下旬～10月中旬
バラ	50KLUX	3月下旬～10月中旬
ガーベラ	50KLUX	3月下旬～10月中旬
カーネーション	50KLUX	3月下旬～10月中旬

農業用ハウスに新しい被覆材を張った場合、夏季の日射量は最高、100KLux 以上になります。強すぎる光から作物を護るために、作物と日射量に合わせて遮光をすることをお勧めします。【表 2】、【図 2】

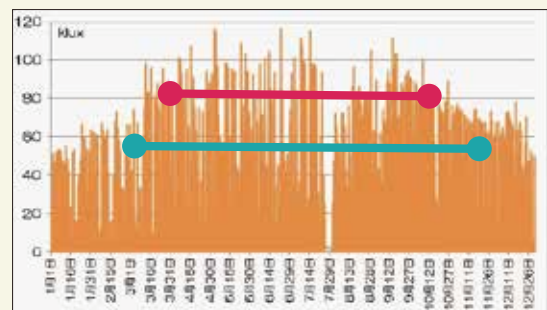
【表 1】

10aあたりの使用缶数 (水 150～170L)	遮光率 (ルクス)	耐用期間	雨への耐久性
3.4	80%	23～24週	中
2.5	75%	20～22週	中
2	65%	14～15週	中
1.6	55%	11～13週	低
1.3	45%	4～8週	低

【図 1】



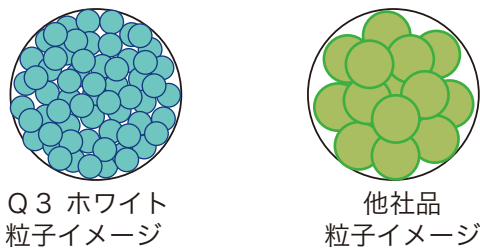
【図 2】



II Q 3 ホワイトの特徴

ヘルマディックス社（オランダ）が特許を取得した微粒分子バインダー【図 3】を使用しているので吹き付け作業中に、樋や桁へ流れ落ちてしまうことが起こりにくく、経済的に使用できます。

【図 3】



III Q 3 ホワイトの使い方

- Q 3 ホワイトは春先の果実の過熟防止や梅雨明けの 2～3 ケ月間の遮光に最適です。
- 【表 1】を参考に、目標とする遮光率によって、使用する Q 3 ホワイトの量を決めます。
- 希釈タンクに投入前に原液を棒などで攪拌してください。
- ムラなく塗布するために、10a あたり 150～170L の水に溶かしこんでください。
- 塗付するハウス外面が汚れていたり、濡れていると付着が著しく低下するので、晴天時に汚れのない乾いた状態で吹き付けるようにします。また、吹き付け後、速やかに乾かす必要があるため、前後の天候に注意をしてください。（吹き付け後 2 時間で乾きます）

IV Q 3 ホワイトの吹き付け作業方法、ご準備いただく物

- 1 Q 3 ホワイト、希釈用タンク、洗浄用タンク、噴霧器、ホース、噴霧ノズル、きれいな水を用意してください。
- 2 Q 3 ホワイトを目標とする遮光率（【表 1】参照）に合わせ希釈タンクに溶かしてください。
- 3 タンク、噴霧器を設置した奥の方から始め手前の方に、小雨状に均一に吹き付けてください。
- 4 吹き付け作業中は沈殿が起こらないよう、タンクを定期的に攪拌してください。
- 5 吹き付け作業が終了したら噴霧器の吸い込み口を洗浄用タンクに移し、5 分程度洗い流してください。
※ 吹き付け作業は吹き付けノズル作業者と噴霧機やホースを操作する作業者の 2 名で行います。



ご準備いただく物



Q 3 ホワイト



洗浄用タンク



希釈用タンク



ホース



噴霧器

V Q 3 ホワイトご使用の注意点

- ① Q 3 ホワイトは使用缶数によって降雨により自然剥離されやすいため、降雨の多い地域や季節において、求める遮光率が 65% よりも低い場合は Q 4 ホワイトを使用することをお勧めします。
- ② 雨水を灌水に利用する目的で、貯水槽を設けている場合は、pH の変化を防ぐため貯水槽の給水口を締めてください。
- ③ ハウス内外の作物にかからないよう、窓を閉めるなどの作業を行ってください。
- ④ まわりの住宅、車などにかからないように風の強い日の散布は避け、風向きなどにご注意をしてください。
- ⑤ 4℃以下での作業は控えてください。
- ⑥ 皮膚に直接付着した場合は大量の水で洗い流してください。
- ⑦ 目に直接付着した場合は大量の水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ⑧ 誤って飲んでしまった場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- ⑨ 人体に悪影響を及ぼす成分は含まれておりませんが、防護具を着用することをお勧めします。
- ⑩ 屋外保管は避け、凍結しないようにしてください。（-4℃で凍結のリスクあり）
- ⑪ 結露を防ぐため、散布は日没 4 時間前に完了させてください。